

シグナルアナライザの2波形表示使用例

◇MSA500 シリーズシグナルアナライザの2波形表示使用例を紹介します。

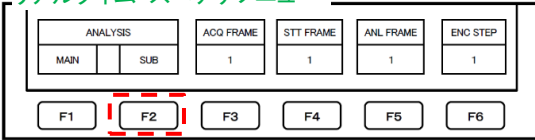
[アプリケーション ~*Application*~]

MSA500 シリーズシグナルアナライザのリアルタイムモードではSUB画面(下段)とMAIN画面(上段)の2波形表示が可能です。2波形表示では、①SUB画面(下段)に表示する波形を設定して、“測定”。→②取り込んだ全フレームのSUB画面(下段)の波形を見ながら、MAIN画面(上段)に表示する解析フレームと波形の種類を設定して、“解析”。の2段階で操作をします。

[ソリューション ~*Solution*~]

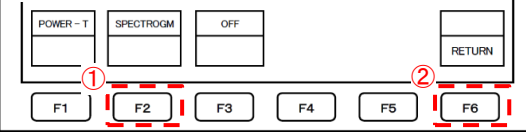
弊社製品 DSRC車載器テストME9100から送信されているASK変調の信号を測定した場合を例に説明します。

リアルタイム・スペアナメニュー



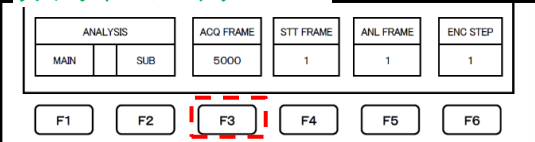
(1)リアルタイム・スペアナメニューにて、“F2”。

SUB画面設定



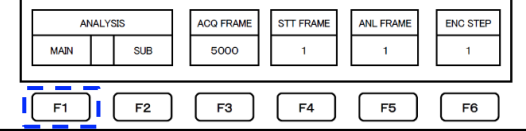
(2) ① “F2” SUB画面のスペクトログラムを選択。
② “F6” リアルタイム・スペアナメニューに戻る。

リアルタイム・スペアナメニュー



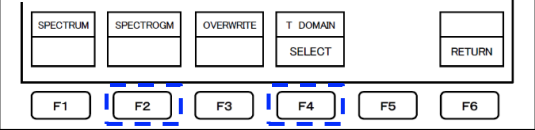
(3) ① “F3” 取り込むフレーム数(時間)を設定。
② “HOLD/RUN” 測定。

リアルタイム・スペアナメニュー



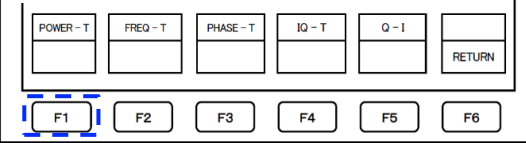
(4)リアルタイム・スペアナメニューにて、“F1”。

MAIN画面設定



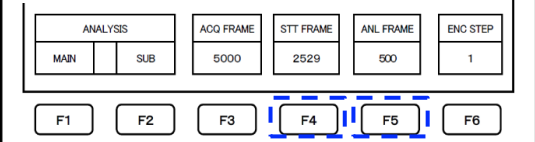
(5) “F2” MAIN画面のスペクトログラム, “F4”タイムドメインを選択。

タイムドメイン設定



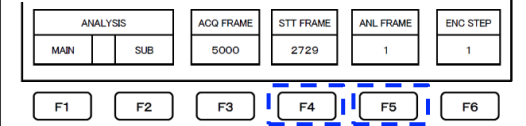
(6) “F1” MAIN画面のパワー対時間を選択。

リアルタイム・スペアナメニュー

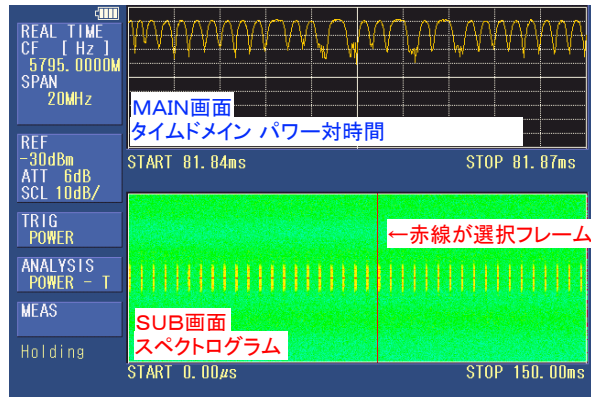
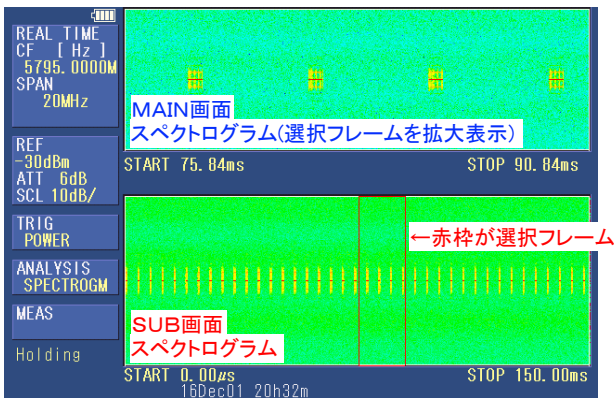


(7) “F4”(スタートフレーム)と“F5”(フレーム数)で解析するフレームを選択。

リアルタイム・スペアナメニュー



解析



SUB画面で測定し、取り込んだデータを、MAIN画面でフレーム(時間)や解析機能を変えながら解析。

[システム構成・価格 ~*System constitution & Price*~]

シグナルアナライザ(MSA500シリーズ)

×1 ¥748,000~

※詳細は弊社営業担当までお問合せ下さい。

※仕様・形状は、事前の断りなしに変更されることがあります。

2016/12